

子供ど真ん中の学校

～かがやく海が見える丘より～

令和6年8月5日
長崎市立畛刈小学校
学校だより NO. 45
校長 田中 成年

＜3年生交流会＞

～上海小主人報のみなさんをお迎えして～

7月16日（火）「中国の子供たちとの交流」として、上海小主人報のみなさん20名をお迎えして、3年生が交流会を開きました。3年生はこの日のために、中国について言葉や文化の学習を深め、よりよい交流ができるよう多くの時間を使って取り組んでまいりました。



中国からの旅行団を拍手でお迎えしました。司会は本校3年生の子供たち。



仲良くなるために、「じゃんけん列車」というじゃんけんをしてどんどんつながっていくレクリエーションを行いました。子供たちからは笑顔があふれていました。



3年生から歌のプレゼントもしました。元気よく振り付けも交えながら日本の歌のプレゼントをしました。中国からの子供たちも、笑顔で見守ってくれていました。



全体交流の後は、グループに分かれて校内を案内したり、一緒にけん玉や長縄、折り紙をしたりして楽しい時間を過ごしました。

言葉は通じなくとも、身振り手振りでコミュニケーションをとったり、今は一人一台端末の時代ですので、クロムブックを使って翻訳しながら思いを伝えたりしたりしている子供たちもいました。



最後はもう一度体育館に集まり、全員でハイタッチをしてお別れしました。



みんな笑顔での集合写真撮影



バスまでお見送り



今回の交流事業への参加については、多くの皆様のご協力により実現しました。心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

参加した3年生の子供たちは今回の交流会を通して、様々な感想をもちました。

「中国の子供たちと仲良くなることができてよかった。楽しかった。」

「中国のことをたくさん知ることができた。」

「中国のことをもっと知りたくなった。」

「中国に行ってもっと勉強したくなった。」

子供たちの目は「**日本から世界へ**」と向き始めました。国際理解や国際協力の大切さを子供たちの目線から見て、子供たち自身がこれから判断していく必要があります。

これからの未来を創る子供たちの素直な感想です。感想にあった子供たちの気持ちを大切にしていくことが「**大人の役割**」だと思います。

今後もしっかりと支えていきたいと思っています。